

本のおすすめ

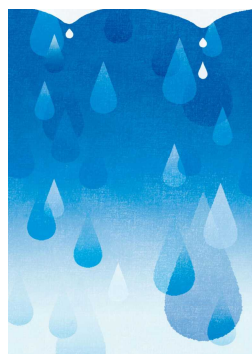
2014年5月号
通巻96号 2014/5/14
水戸一高図書館



『わたしはマララ』 地理歴史科（世界史） 岡崎 賢治

2012年10月9日、パキスタンで15歳の少女が過激派タリバンに銃撃されたというニュースが、世界中を駆け巡った。少女マララが撃たれた理由は、女性にも「教育」を求めたからです。彼女は、パキスタン北西部の緑豊かで、美しい山並みが広がるスワート渓谷で、教育熱心な父親、文盲の母親、弟とともに幸せに暮らしていた。渓谷に住む人々は、パキスタンでは最も多いパシュトゥーン人で、イスラーム教スンナ派に属している。しかし、2001年の（9.11同時多発テロ）以後、渓谷はアフガニスタンから逃れてきたタリバン勢力によって支配されてしまう。その時、マララは、子どもながらも声をあげる。彼女は、マルティン・ニーメラー（ドイツ）の詩集を読むことで「黙っているだけでは、何も変わらない」と考えたからです。だが、マララはそのことでタリバンの標的とされてしまう。

その日、学校に向かった彼女は、至近距離から3発の銃弾を受け、友人二人と共に瀕死の状態となる。しかし、奇跡が起こる。パキスタンからイギリスに運ばれたマララは、多くの人々の援助で一命を取り留めたのです。そして、2013年7月12日（16歳の誕生日）、彼女は国連本部で「本とペンを持って闘いましょう。それこそが、わたしたちのもっとも強力な武器なのです。ひとりの子ども、ひとりの教師、一冊の本、そして一本のペンが世界を変えるのです。」という演説をするまで回復しました。



イスラーム教は多くの人々の心をとらえて、今でも信者は増えつつある。問題は、宗教の善し悪しではなく、時代に流されてしまう弱い「人間」そのものだと思います。マララが言う「教育」こそが人間を救うのです。『わたしはマララ』（学研パブリッシング）をお勧めします。

5月 開館予定

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31
6/1	2	3	4	5	6	7

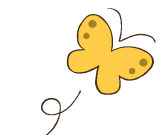
は休館日

図書館利用案内

- 開館時間 **8:25~17:00**
- 貸出期間 **2週間**
(一回のみ継続貸出できます)
- 貸出冊数 **一人5冊まで**

4月の統計

入館者939人
(昨年 1049)



	貸出冊数 (昨年)
1学年	105 (91)
2学年	46 (153)
3学年	77 (69)
合計(冊)	228 (313)

お願い

本の返却期限は守りましょう。
次に読みたい人が待っています。